

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公開番号】特開2017-178116(P2017-178116A)  
 【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-038  
 【出願番号】特願2016-69889(P2016-69889)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 T 11/236 (2006.01)**

**B 6 0 T 17/00 (2006.01)**

**F 1 6 J 15/3236 (2016.01)**

【F I】

B 6 0 T 11/236

B 6 0 T 17/00 D

F 1 6 J 15/3236

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月25日(2019.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有底筒状のシリンダ内孔を有するシリンダボディと、

前記シリンダ内孔にシリンダ軸方向に移動可能かつ液密的に組付けられて前記シリンダボディ内に圧力室を形成し端部が前記シリンダボディ外部に突出するピストンと、

前記シリンダボディにおいて前記ピストンが挿嵌される空間を取り囲む位置に形成される環状の溝部と、

前記シリンダボディ内の圧力室と前記ピストン外部のリザーバとに連通する連通孔と、

前記溝部に圧入され、前記ピストンに対して相対移動自在に外嵌するとともに、前記シリンダボディ外部と前記連通孔とを遮断する環状のシール部材と、を有するマスタシリンダであって、

前記シール部材が、前記ピストンに沿うように延びるインナー側リップ部と、前記溝部の外周面に沿うように延びるアウター側リップ部と、前記インナー側リップ部と前記アウター側リップ部とを連設するベース部とからなり、

前記シリンダボディには、前記溝部と前記連通孔とを連通する第 1 連通路が前記マスタシリンダの軸線方向に延びるように形成されるとともに、前記第 1 連通路の前記シール部材側の開口部が、前記シール部材の前記アウター側リップ部および前記インナー側リップ部の先端内周面より内側に配設されることを特徴とするマスタシリンダ。

【請求項 2】

前記第 1 連通路の前記シール部材側の開口部が径方向外側に拡径するテーパ面を有することを特徴とする請求項 1 に記載のマスタシリンダ。

【請求項 3】

前記マスタシリンダには、前記溝部から延びて当該溝部と前記シリンダボディ外部とを連通する第 2 連通路が形成され、前記第 1 連通路の軸線と前記第 2 連通路の軸線とは、互いに同軸上に配設されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のマスタシリンダ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記目的を達成するため、請求項１に係る発明は、有底筒状のシリンダ内孔を有するシリンダボディと、シリンダ内孔にシリンダ軸方向に移動可能かつ液密的に組付けられてシリンダボディ内に圧力室を形成し端部がシリンダボディ外部に突出するピストンと、シリンダボディにおいてピストンが挿嵌される空間を取り囲む位置に形成される環状の溝部と、シリンダボディ内の圧力室とピストン外部のリザーバとに連通する連通孔と、溝部に圧入され、ピストンに対して相対移動自在に外嵌するとともに、シリンダボディ外部と連通孔とを遮断する環状のシール部材と、を有するマスタシリンダであって、シール部材が、ピストンに沿うように延びるインナー側リップ部と、溝部の外周面に沿うように延びるアウター側リップ部と、インナー側リップ部とアウター側リップ部とを連設するベース部とからなり、シリンダボディには、溝部と連通孔とを連通する第１連通路がマスタシリンダの軸線方向に延びるように牙設されるとともに、第１連通路における溝部側の開口部が、シール部材のアウター側リップ部とインナー側リップ部との先端内周面より内側に配設されることを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

請求項３に係る発明は、マスタシリンダには、溝部から延びて当該溝部とシリンダボディ外部とを連通する第２連通路が形成され、第１連通路の軸線と第２連通路の軸線とは、互いに同軸上に配設されることを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図２】

